

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 ☎ 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【中央】



婿どの相逢席
西條奈加／著
幻冬舎

楊枝屋の四男坊・鈴之助は、相思相愛のお千瀬の生家、大店の仕出し屋『逢見屋』にめでたく婿入り。誰もが羨む逆玉婿のつもりが、祝言の翌日に隠居の申し渡し！？

一般

【葦山】

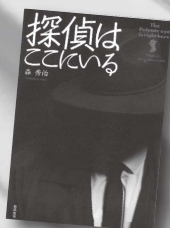


象の皮膚
佐藤厚志／著
新潮社

五十嵐凛、書店員6年目。アトピーの痒みにも、やっかいな客にも負けず、今日も心を自動販売機にして働く。非正規雇用、カスハラ、震災、女性店員の生きづらい日常。

一般

【中央】



探偵はここにいる
森秀治／著
駒草出版

探偵社への依頼の多くは浮気調査。追われる調査対象者と追う探偵、両者の見えない駆け引き。日常に姿を見ることがない9人の現役探偵がその素顔と生々しい現場を語る。

児童

【葦山】



サヨナラの前に、ギズモにさせてあげたい9のこと
ベン・デイヴィス／作
小学館

生まれてからずっと一緒に愛犬ギズモが老い先短いと知った13歳のジョージ。最愛の相棒の最高の一生のための行動リストを考え、実行していく。笑って泣ける物語。

新着本コーナーから

一般

一般

一般

一般

一般

一般

一般

仮面

あなたにおススメの

疼くひと

遠（とおく）の巷説百物語

南の風に誘われて

10代のための読書地図

パスタの本

伊岡瞬／著【中央】

本谷有希子／著【中央】

松井久子／著【葦山】

京極夏彦／著【葦山】

椎名誠／著【葦山】

本の雑誌編集部／編【中央】

有本葉子／著【葦山】

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

9月のおはなし会

中央図書館 11日（土）11：00～
葦山図書館 11日（土）14：00～
25日（土）14：00～
（予約不要）

くぬぎ会館こども広場
16日（木）10：10～
☎ 0558-76-1346（要予約）

お知らせ

葦山図書館は、特別整理期間のため休館します

本、雑誌などすべての所在を確認するために必要な休館です。期間中ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

休館期間／
9月21日（火）～24日（金）

休館前から書庫の本など一部で利用いただけない場合があります。詳しくは職員におたずねください。中央図書館は図書館カレンダーのとおり開館します。どうぞご利用ください。

文化財通信

その195

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡 第9回 北条義時をめぐる人々と伊豆の国市 〔源頼朝〕

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428



蛭ヶ島公園に建つ「蛭ヶ島の夫婦」

今回から数回にわたり、北条義時をめぐる人々と関連する伊豆の国市の文化財を取り上げていきます。最初の人物は、源頼朝です。頼朝は鎌倉幕府の創立者、初代征夷大將軍として有名ですが、第2回でお話ししたように、義時にとっては、姉政子の夫、つまり義理の兄にあたります。頼朝は、平治の乱で父義朝が平清盛に敗れたことにより、罪人として伊豆に配流され、20年間流人として暮らしました。頼朝の配流地は諸説ありますが、葦山地区四日町の蛭ヶ島はその有力な推定地です。

現在、その場所は蛭ヶ島公園となっています。公園内には、江戸時代に伊豆の地誌「豆州志稿」を著わした秋山富南が、この場所を頼朝配流の地と考証したことを記念する「蛭ヶ島碑記」（市指定文化財）があります。また、平成16年に富士山に向かって頼朝と政子が寄り添うブロンズ像「蛭ヶ島の夫婦（ふたり）」が建てられました。頼朝と同じ時期に伊豆に配流された文覚という僧がいました。文覚は頼朝に反平氏、源氏再興を促したと言われている。父義朝の體裁や後白河上皇の院宣（*1）を見せて決意させたという説もありますが、これは史実ではないでしょう。文覚が流人として暮らしていたと言われる葦山地区奈古谷には、「文覚上人流寓之跡」の碑が建っています。もう1カ所、葦山地区山木の滝山不動にも、文覚が隠れたと伝えられる洞窟があります。

また、信仰心の篤い頼朝が三嶋大社に参詣した折々に、葦山地区原木の餅売りのお婆さんの店に立ち寄って休息したという言い伝えがあります。將軍となった頼朝は、お婆さん（*1）上皇または法皇の命令を受けて出される文書（*2）熱海市上多賀にも「一杯水」という湧き水があります。このほか、頼朝の馬の蹄跡が残ったという「蹄石」（長岡地区小坂）、同じく「馬蹄石」（大仁地区浮橋）、頼朝が喉の渇きを潤した「一杯水」（*2）という湧き水（大仁地区田中山）など、市内には多くの頼朝伝説が残っています。



「文覚上人流寓の跡」の碑